

## 東京下町 樹木探索

「ツキヌキニンドウ」(突抜忍冬)



道沿いで見かけた花

今年は台風が少ないと思っていたら大間違い、8月になってから立て続けに発生し、いま南の海上にいるのは[台風10号](#)です。この台風が発生したのは千葉県沖、それから一旦南大東島付近まで南西に進み、今まさに同じルートを戻って来ようとしています。台風につけられた名前は「ライオンロック」、思わず「らいおんハート」を連想し、12月で解散を発表したSMAPの迷走ぶりと重ね合わせてしまいます。



台風10号「ライオンロック」

いつものとおり、旧中川の畔(ほとり)を自転車で走っていると、目に付いたのはオレンジ色の小さな花、どこかで見た記憶のある花です。脳裏に浮かんだのは[「ハナチョウジ」\(花丁子\)](#)、沖縄首里城の「守礼門」の手前に咲いていました。切れ長の真っ赤な花は、門の柱や紅型(びんがた)の着物の色とマッチして、沖縄気分を盛り上げます。

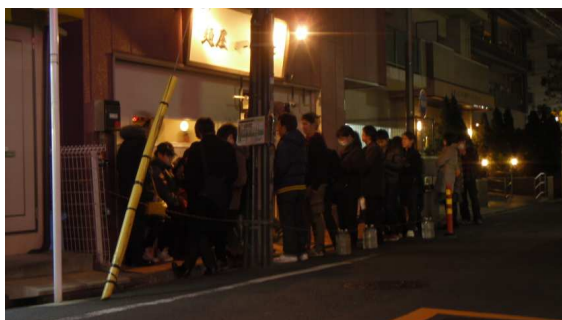
やや下向きに垂れ下がって咲く花の姿は真っ赤な花火、英語では「Firecracker plant」(爆竹草)とも呼ばれています。一方、花言葉は「旅立つのは、今」で、いずれにしても気持ちが最大限に高揚します。



「ハナチョウジ」(花丁子)

しかし、メキシコ原産の南国の花が東京に咲いている筈(はず)も無く、葉の様子もだいぶ違います。「夏に咲くオレンジ色の花」をインターネットで検索してもさっぱり分かりません。こんな時に頼りになるのは江戸川区立中央図書館、かくなる上は、花の図鑑を片っ端からめくってみようと思います。

図書館へは、JR新小岩駅から都営バスで向かいます。新小岩と云えば人気のラーメン店 [麵屋「一燈」](#)、いつも長い行列で、指をくわえるばかりでこれまで入ったことがありません。時間はちょうどお昼過ぎ、急ぐ旅でもないの今回ばかりは意を決して並びます。



麵屋「一燈」

並び始めて45分、ようやく目の前に一杯のつけ麺が運ばれてきました。人間の心理として、高価なものや苦勞して手に入れたものに対しては、無意識に擁護の気持ちが働くということですが、この場合も完全な罠(わな)にはまってしまった模様です。

お腹が満足したところで、江戸川区立図書館に向かいます。着いてから花の図鑑を取り出して、写真のページをぱらぱらとめくって見れば、あっけなく見つけることができました。花の名前は[「ツキヌキニンドウ」\(突抜忍冬\)](#)、忍者の使う技か道具のようなとても変な名前です。名前の由来は、茎が葉の中央から突き抜けているように見えるからだと、何の洒落(しゃれ)も捻(ひね)りもありません。